



背景・課題

幼保小の接続期の教育の質的向上に向け、全ての子供たちの多様性にも配慮した上で「**学びや生活の基盤を育む「幼保小の架け橋プログラム」**」を推進する。具体的には、全国的な取組の充実と併せて、モデル地域において、地方自治体の担当者や幼児教育施設及び小学校の教職員等が連携・協働して「**架け橋期のカリキュラム**」を開発・実施するとともに、国において、その成果の検証等に関する調査研究を実施する。

事業内容

モデル地域における実践・成果の検証等を通じた「幼保小の架け橋プログラム」の推進

①モデル地域における「幼保小の架け橋プログラム」の実施

- 中央教育審議会初等中等教育分科会「幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会」における議論の成果を踏まえ、以下の取組を実施
- ・ 架け橋期のカリキュラム開発会議の設置・運営
 - ・ 架け橋期のカリキュラムの開発、園や小学校における指導計画や保育の計画の作成・実施、指導の改善
 - ・ 架け橋期のカリキュラムの実施に必要な教材や研修等の開発・実施 等

②モデル地域の成果検証

研究機関による実地調査やヒアリング、アンケート等の客観的な調査を通じて、モデル地域における「幼保小の架け橋プログラム」の取組状況やその成果を検証するとともに、幼保小の接続に関する改善事項を整理し、全国展開に向けた提言を行う

③「幼保小の架け橋プログラム」の成果普及

「幼保小の架け橋プログラム」の更なる全国展開に向け、モデル地域における3か年の取組等を踏まえ、「幼保小の架け橋プログラム」の取組・成果について、全国への広報・プロモーションを実施

委託先

- ① 都道府県、市町村
- ② 研究機関
- ③ 研究機関 等

箇所数、
単価

- ① 19箇所 700万円/箇所【継続のみ】
- ② 1箇所 4,800万円/箇所【継続のみ】
- ③ 1箇所 2,000万円/箇所

委託対象
経費

調査研究に必要な経費
(人件費、委員旅費、謝金等)

担当：初等中等教育局幼児教育課